不審者対応訓練

昼休みは、なかよしにこにこ班遊びでしたが、その途中に不審者が運動場に侵入してくるという設定で訓練を行いました。児童も教職員もこの日のこの時間に訓練があるとは知りません。そのような状況の中、運動場にいる教員が不審者に気づき、児童を教室に誘導しました。その後、数名の職員がさすまたなどをもって駆けつけ、囲まれた不審者、通報を受けた警察官に確保されるという内容でした。安全が確認された後に体育館にて少年サポーターの槌屋様から「危険は身近にたくさんあること、SNSなどの顔が見えない相手も不審者になり得ること、『いかのおすし』を守って、自分の命は自分で守ること」などのお話がありました。児童は危険から身を守る方法をいろんな機会に学んでいます。





